

科目名(英文名)	ナンバリング	単位数	年次	期間	担当者
事業戦略事例研究Ⅱ (Business Strategy Case Study 2)	MPCD16/ MPCD28	2	1年次	後期	小林 昭寛(コバヤシ アキヒロ) 大塚 理彦(オオツカ ミチヒコ) 角田 全功(カクタ マサノリ) 杉浦 淳(スギウラ ジュン) 矢作 嘉章(ヤハギ ヨシアキ)

授業のねらい概要	<p>知的財産を活用する主な主体である企業が事業利益を最大化するためには、その企業に固有の経営戦略(事業戦略)の下で、これと整合した研究開発戦略や知的財産戦略を立案し、実施していくことが必要である。</p> <p>したがって、知的財産戦略の立案や実行を担当する者は、知的財産の視点だけで戦略を立案・実行すればよいのではなく、経営戦略(事業戦略)という大きな文脈の中で、その経営戦略の実行のために最適な知的財産戦略を立案し実施していくことが求められる。</p> <p>本科目では、実際の企業の経営戦略(事業戦略)の取材に基づいて作成されたビジネスケース教材を利用したグループワークの演習形式の授業を行うことにより、将来の知的財産戦略の立案と実行を担う者が身に付けるべき経営戦略(事業戦略)に関する知識を獲得させることを狙いとする。</p> <p>具体的な進め方としては、各ケースごとに担当グループを決め、準備、発表、全体討議、質疑応答などを行う演習形式とする。各ケースについて事実関係を分析・検討し、設問に答えることにより、企業における実際の事業戦略の立案実行を疑似体験する。</p>
----------	---

授業計画(授業のスケジュール)	回数	テーマ	授業の内容・教育方法	予習/復習
	第1回	ガイダンス	授業の進め方の説明、事例資料の配布。	授業時に指示する(4時間)
	第2回	事例研究(1)	上記「授業のねらい・概要」の欄に記載したグループワークに基づく授業の進め方を参照。	授業時に指示する(4時間)
	第3回	事例研究(2)	同上。	事例についての事前準備をしておくこと(4時間)
	第4回	事例研究(3)	同上。	事例についての事前準備をしておくこと(4時間)
	第5回	事例研究(4)	同上。	事例についての事前準備をしておくこと(4時間)
	第6回	事例研究(5)	同上。	事例についての事前準備をしておくこと(4時間)
	第7回	事例研究(6)	同上。	事例についての事前準備をしておくこと(4時間)
	第8回	事例研究(7)	同上。	事例についての事前準備をしておくこと(4時間)
	第9回	事例研究(8)	同上。	事例についての事前準備をしておくこと(4時間)
	第10回	事例研究(9)	同上。	事例についての事前準備をしておくこと(4時間)
	第11回	事例研究(10)	同上。	事例についての事前準備をしておくこと(4時間)
	第12回	事例研究(11)	同上。	事例についての事前準備をしておくこと(4時間)
	第13回	事例研究(12)	同上。	事例についての事前準備をしておくこと(4時間)
	第14回	事例研究(13)	同上。	事例についての事前準備をしておくこと(4時間)
	第15回	事例研究(14)	同上。	事例についての事前準備をしておくこと(4時間)

到達目標	<p>(1)本講義で取り扱うビジネスケースに関し、事実関係の概要を説明することができる。</p> <p>(2)本講義で取り扱うビジネスケースに関し、基礎的な設問に対して適切に答えることができる。</p> <p>(3)本講義で取り扱うビジネスケースに基づく議論を通じた事業計画立案の疑似体験に基づいて、より複雑な事案に対して事業戦略の発案や適否の検討をすることができる。</p>
評価方法	成績評価は、グループ発表の内容、討議における意見陳述の内容、及び最終課題レポートの内容に基づいて行う。
成績評価基準	<p>到達目標(1)に明らかに到達していない場合は、本科目の単位を取得できない(欠格条件)。</p> <p>下記の基準にしたがって5段階評価する。</p> <p>A:到達目標(1)から(3)について、特に優れた成績で達成している。</p> <p>B:到達目標(1)から(3)について、優れた成績で達成している。</p> <p>C:到達目標(1)から(3)について、概ね妥当な成績で達成している。</p> <p>D:到達目標項目(1)から(3)について、合格に必要な最低限度を満たして達成している。</p> <p>F:上記以外</p>

教科書			参考書		
書名	著者名	出版社名	書名	著者名	出版社名
特許庁等による委託に基づき作成されたビジネスケース教材を事前に配布する			授業時に適宜紹介する		

受講心得	<ul style="list-style-type: none"> ●数名からなるグループ単位で輪番で各事案を担当するため、グループのメンバーどうしで事前準備や当日発表に相互協力すること。 ●レポート課題において誤解や不正解が多かった点については、コミュレポにて解説するので各自確認し、理解を深めること。
------	---

オフィスアワー	<ul style="list-style-type: none"> ●小林:講義・ゼミや会議の時間を除き、原則として平日の13:00~18:00の時間帯に研究室で対応する。 ●角田:水曜日の5時限目に研究室で対応する。 ●大塚:木曜日の3時限目に研究室で対応する。 ●杉浦:金曜日の5時限目に研究室で対応する。
---------	--